岩切家文書
編
下
へ13
3128
3

特
へ13
3128
3

昔時圓朝

古圓盃

大藏

滑稽和合人初編上卷

斯ともちぐ次郎の二人。鼠の親向ふのくく。接足さく足入来う。そつと拔折戸押あけて。ぢよたち

たる和次郎を。矢場七名るより　ヤア　和次さん

おめ〻マアどこへいつて居るのだ。ろく〻　和二　ヤア

矢場ゑいけ後く。えゝ　記く　ゑまるさん　笠

おきく　どこへ行くのだ　みとい　知ぶのマア　やうく　ぢく

ん後へ。ヲヤ土場ヱ。揚ヱも一ツ不ル。有がてく。是ぐ
ちと手が丈夫よるつさ。ヱヘ〳〵コウ和次さん。おめへの
番ちゃ大ぐんが出来さ。マア契坊主を見ナ。行儀ぢが
出来さぜ。土場六ハ和次ぶが独を。そろと引小袋ゆく。仕
ん組ぐ通ル。ゆるゞヱ揚ニ〳〵そのふよるんども一ツ盃をきくまれば
徐いろぜんごうい〳〵。是サおめへたちハナゼそこま
立くいるのぐ。早く〳〵ヱヘ来ると〳〵ん後ナ。ヱヘそふよ
和次さん是ハマア。ぐつ〳〵たらよろく〳〵。ヱヘ〳〵あんざらの

も食ハきぐふろく〳〵。おくいるぜふけくきる今此ヲ人ハ一ツ
のまふとあめふく。賛小袋へいつけて来さらマア下ニ。ちち
ぢらつ〳〵。そく〳〵。あんどんでもつけてくれまべいるふ。臭の元
ふ出くいるものウ。此拠灯の火をうちまゞヱ。是ハ謙中
のづらだ。ぐつ〳〵と。ヱヘ〳〵ヱ〳〵サ。ぐつ〳〵だらおくぬくが
大方此坊主のぐろうが。何ぐ死人よ。ぐ〳〵。欲ぐろう
後へ。ヱヘ〳〵ヲヤうんよ此坊主ハぐつ〳〵のぐ。ヱヘ〳〵死ん
で居るといふよ。ぐまつて人。ヱヘ〳〵と。美味く。いゝ

モウ甚ふかくなると行くぞ。まあ〔コレヤ〕おりくたちい。平まぐ
いるがぜうだんでも行く。まくまくまくま

鬱若れモウくる附くうう　丁二内二さくいれが　ぶぶ二乗て
くる笠ぐ。マアそれまぐく衆でもまくよる　揚三
ものびよものいといけ行く。早くく艾をだし行く
それく　丁衆よ出くいる　ちて　そそ呼ッけくもいくせ
和泉さん名へ。あんといふ　ホニ名へ妻念といふ　ぶぶ
はじまら行く。達者な附きくく　ゆくふたれへッぶかる鬱ぐ
ものをちて　ハア鬱ぐ。そんまらくまぐるそんよ　ちて
そんなるすでいけるものの。マア　艾をるく出さくくレ

俵をそんなよくらいよれめ　揚三　長大サでぶ。あんまく
だろく。ごさくられめくせ　ちて　ろ乗をいて行くあるくイくらいあ
ろけい行く。かまるぐ大きくれめれ　サア　ちまでのまゆぐ
いく。俵をそんちの見をもまくさんく　徒長　ソット。よ色あ方
一おでよ。あんまりぐろく　ちて　早くリ。かまるぐまくさんくと
いるふ　徒長　ソイくそんあくサアくく。やらくせくくふまで
いの　ちて　そあよ。見見行くれんがまくてるあぐ　徒長　八
此姉主め人。人形見とあらぐせ。見のくらが乗らく。

でゝふきくるゝ雨のたゝふまどとりまどろゝ。ぽんぽん
でゝいる箸ぐ　わゝ／＼　まあれさんの夢んナ。あゝ／＼ろくも行くべし
線香ヨ。ちゝ／＼火をつけさんし／＼　トまくら箸中　あつて大さうぎこう
藝者の名前　名前／＼イレめんあさんまゝ。今まどふさんど
まゝ。式名をえびうまごら。そふく／＼　まゝ／＼おらやや
様ゝ義／＼イヨ　お思でどざうまゝ。今雷門ぐ。お客様よ
お見よかゝゝ。ますあを医をゝとゝうまゝ。行ら
先／＼さんじ生と　藝者／＼イヤサ。おらやだろゝの　義／＼イヨ　藝者

でどざうまゝ　紙吉／＼あんのゝとゝまゝ。ぶとゝよどう
の中へ藝者が　わゝ／＼イヤ／＼それ。おまがわけとかゝとの
だが。ア／＼今まゝもたじまゝ。ぶあ／＼きのどゝだが。そゝ
ゝ。ゝゝく。あとゝん行く。今あゝふちゝと。そゝ。が出まゝゝ。
付次第。又そふいゝてかゝゝ。ぶ式名れいまゝとぶゝとゝんけせく
紙吉／＼　わ次さん式名ゝ。あゝ方ゝゝぜ。ぶゝ。佃合／＼／＼
ゝらふゝらわゝ／＼ヤサ。おゝやでゝ行く。藝者ごゝゝのヨ
紙吉／＼藝者さゝでまゝんで。今藝者ぐゝゝ。ちんとも

なるべく間よ合方がよろしう程よくあつらへてござる。
うら也「是は三弦あるじゃ。マア　ちょうさん〜〜
ちょふ。トッチてどういこいけ　後く
「サア〜おいしや様がごぞうさ。そりや此方をとこく
こうてこうんなマッ是を洗おふ。サア　宗玄様お上りあそばせ
「ソレ義兵様がおいでなさるさモウ　矣もてあそ
是ッし。ペイまづさうそくまるぐらい。ばらくとこぞうまし
ヤハイく。男ハ皆さん大きれば苦労デ。ハイよりなき
絶さまるうこかんと。「左場」左ッこへてござるサと此場さんで
ござりまさうが「ヨウく。ドレ宮舞とト「イ左場さ
そこの七ッんへ大とおそてござる「ヨイく「弟
こうこの三味線弟とこく「ヨツトこは「上是へ三味
線弟ごハこんこのへ形ざライかそうさんあの弟
ん通りの狂ござる。マア此茅弟へ持て吸うてくれく「ハイ
茅弟とく「そ。上ア何のサ。三弦とヨ「ハイく「上弦弟
弟人会。今是下の持てここ茅のよまござるこ弟

賀 「ナニ、おまえどのもつてまゐつてゐるこそ、まことにめでたけれ。」

賀 「ヨウこそいつてくれた。」

場 「ハイ、ハイ、どうでもまつぴらこれまでもまゐりました。」

賀 「ヨウト、坂東くわつし、あつし。」

場 「ハイ、ハイ、そりやあなたのおくさまのおくさまのおくさま

「さてさて。風と手ハしらるゝ者ハ
是ハ。あんまり手まなのんごゞモシ。お醫者様ハ
でハ紫ゝまとゝ程のうもござりまるこゝまいが。右じ
こゝハいふ変もみるものでござりまること程「成そ」ゞ
みるるもので。一ツこゝハ人ハ七傷とやござるテ。それハ
喜びるこゝハ人と傷と。怒るれば。肝と傷り。憂ひ
るこゝハ。肺と傷り。ふびるれば。脾と傷と。考るれば。腎
肝と傷と。恐るこゝハ。腎と傷と。労ひるれば。脾

醫者様のまへでござりまるこゝ
とて。私どもの解死人ハ。皆まを理ゝるもこゝ
ものでござりまるが。マヲどゝでござりまるが「ハア是ハ
なまへと。陽でも。ものこゝれてのうの「イエくどゝいとはて
るこゝ人「是サ。山男も。今。そんなうとゝいこゝろて
ゝ。ぎまこゝれへ。マアくちつまるもよく。へイどゝ。針でも。茶で
も「ハて。アるく。ゝこゝべト。さつこゝ村人と。ぎまこゝ。ニ三ぎ
まがついこゝく「どゝぶ。まがつ。ゝまのこゝろく「モシ。ものと

かつえやつてゝ耳でこいていナ変でへ生せね。ハア
左様ウナハ〳〵。イヤめふ宜うござりまして。そこで茶くん
一帖用ひ〳〵とんア。そこりゃ茶屋と長へ。へイ。そこ
矢場ヱ。へイ私ウ子。イヤそこふとうとこ〳〵の茶屋が丈と
ちゝうと長へ。へエ。ヲイ。揚ヱ。何とうつうあてゐるのゞ
そこふ茶の係ゆどんゞ。ヲイ。あ仕の元一すと茶ゞ。へエて
あるこのお仕ウ子。イヤそこ入ふ茶ふ茶のでゐ〳〵ウませね。
ゝゝ〳〵ゞちゞに茶いこて茶〳〵生ウ。

一イエサ。そこ茶茶と長へ〳〵ウこと茶補ひと一帖ちんぜ
生せう。へイ〳〵そこと茶茶補とゝこせとゝつゝ茶ハ茶ゞ
そこへ行おそ。おいこッケ。ア矢場ヱのうしろふふへ茶ふと
ゝゝ〳〵ゝるのゞナ。ゞゝゝふナ。へエお茶茶の変れ。
へイ左様ウ。そこ入上ゝゝと茶へ茶とせゞゝゝふゝ田の細メと辞
拾中秋ゞ。ゞゝゝふゝゝゝ。ゝゝゝの茶茶の引生〳〵とあけ。ゝゝふゝどの代ゝゝ
ゞんのゞゝゝゝ。ゝゝゝ。ゝゝゝゝ。ゝゝゝゝ。ゝゝゝゝ。ゝゝゝゝ。ゝゝゝゝ。ゝゝゝゝ。ゝゝゝゝ。ゝゝゝゝ。
ゞんゞゝゝゝゝ

ふせゐとキ〜〜〜〜ろ。トいふこゑホ
まゐくふつ〜〜ろひ　妻念「どうもこ振もうんお出ゑ〜〜キ〜〜〜へイ
わうせんとそれだ
真平ごめんをうキ〜〜旦那さま、明日ハ生駒大病振の
ろ用帳のかつ〜〜で深中不残。ろ輪をち迷ハ人ホ出ハ。
どうぞ代表ゆさ及ゑうろ。振ハ時ろう。仕ゆ屋つ振キで
ろ玉下さゐキ〜〜〜ふ。どんぞ代不来ゑく。〜〜〜場「コレ
坊さん。大阪振の迷くどこでゐ有く今地獄ろう。あくの
迷くゐ来てのぶれくことゞッチ。ゐ〜〜さん待ハ妻念「ハ〜〜私ハ

傷ろとゞゞろキ〜〜〜ろ。ゐ〜〜〜〜

[illegible]ハ[illegible]ヤ[illegible]ハ[illegible]ヤ[illegible]ハ[illegible]ヤ

ござりません。又歯はよかどでござりませ
とてもこなたの僕よりつくへまさるとまいらせど里ばかの
皆々に。あなたへでもおつうひまさるがこうござりませ
「ハヽヽヽ。大ちがへのまとをさつくかつちがまさる
何ぞ迷惑でもあるまとを見へまさるナ
「エヽ、何サ
小花ホガ何ぞチワヽくやまさしてもどんと夜あへまさん
ヘン過日あんぞ大病の公とをとんと本草ホ出テ
ありまさるア。あなたへしの族の多様見つるホヽヽ

らかの。まさんでまさう
「ハヽヽ是ハ又和合人
ちと上いものでござりまさるナ。サあちらへ皆様
大きなお世話さまよ
「ソレ矢場久。お提灯でも付け
祇へ。まのまさるれへ
「イヤ是ハヽくたぐろ
「ヘイヽヽ
お供の方お提灯
「ハヽヽヽ酒ばかり
お大ちのホト
お多ちのめう
桑ちくくと
百万べんのどく
矢場久
「ハヽヽヽ
「ヲイ
「ハヽヽヽ
「ハヽヽヽ
「ハヽヽヽ

三間よりねばりませんハ〳〵。イヤ〳〵て厭いとし
させへうどふもあじをみ待で。まめけが考こうふで
ござりまする　矢場「サア〳〵丁度きを至ふ急〳〵トまゝをはいで
矢場「ヲイ坊さん幸ちろ〳〵ハ是と一ツ。その呑ナ　妻会「い
あく〳〵どふいと。まてもウ〳〵此内ハ此先急さんまし。
ちがいまぶつあひさまハ今佛在湯つ拍で。大ふ〳〵ふ〳〵べさご〳〵まして。そこで
ふ方さまへ糸ふ〳〵ともぞんぜぞ。ふ世ふ世ふこで此座り
まうとうへ〳〵。　茶見「急ふサ酒で成れ〳〵茶ごヨ　妻会「イエく

十二あるこいつでもいそぎく此でござりまするものゝ。
どふてもおぢだでハござりません　横代「コウ和泉さん此場
ふハウシとのつことハいふく急ぐ付れ〳〵ゼ　和泉「そふよ此
拍子でハモウ茶ふもあるふぶめ〳〵場る急ふ。ちやつて
けく急ぐいく　矢場「ちげ〳〵れく急ふ。ちん新の半ふ急さんろ　妻会「ハイ
左拍急ふ旦那さ急此月お目ふ。ふふ急ふ。ヘイ急ふ
さまよもあるふ。ヘとふ。ヘイ急ふ〳〵急ふ。ト。てうちんとつけ
のでござりと　イヤ今日も腹形ふふかふりまする。ヘとふ

大島加三郎

傳ゑうさぶふいく解こと三まして法方箱あります
ちつと世へうちぐうりうぐう。是のの裏ぐごのぶいこと外
モウ〳〵手と長ッてハいこでへぐごうり牛せん。ハ〳〵ト
ヒガク長へ大場
いこくやく　一おう〳〵もれへすとうく多人場立ごペン
是のうくハいこむ多ごア。あ〳〵こハ火ぶこれふあて
あり月日
あり是る変でハれへゼ　一ホんふあんキまで予まで
おう〳〵れうくぐごこの國ふ目と中〳〵あと紙ぐごに
居ろといふもあんきり新のふ一ふるとぐ　一そふふ是社

実深ぐ名是でも。ゆで人ふ名春っても。ゆんとうふた
ちれへゼ　一ちげへれへちしこうちふハ大仕合ぐ多うふでも奈
て成と母ぐ月れへ大さうだと是ふりふうりちゃぐでも
ちう兵是ぐもゆんふんがう神と送ア知〳〵こうふるのんぐ
あり
あうぐへへト彼是ちこ〳〵居ろとこうく歳小路の巴正の男　一へイ
ごゆん下こうキ〳〵イヤモウゆうとけもごうり牛せん大さに
あそこうりキ〳〵こ今日ハお茶でハ客人が一度にあり合
キ〳〵そ室ふ是ア是キ〳〵こちふ大さふあそうりキ〳〵こ

どうぞ真平ご免あさうす

「ヲイ〳〵ホンホウゴッケ
こりゃまた大に長延があつて
居さが丁度いく所ごノウ土場スト
揚げ弟もせうちの話
用ろ用で居ろせう

「ヲイ巴正のこりゃ一寸お呼び
ここへ変ばうけこめいて

「ハイ〳〵お呼ぶ
ちょいと

「そふよ。そふさがさうきこうれごろ
大変延がありてちぐふ気とけて
づいこりゃあいている直ふ

「ハイ〳〵。こりゃ十五ばかり
さうふ

「アイ〳〵どうぞかこのこと

「ヨ

「時ふ和ばこうれ。こりゃ
どうのふ行多で氏拍ふ純こが
ぶ味ご又ふ三本ふ

「そふこうれご。
くこりゃでハれく。こりゃんの。
付こりゃでおそりゃそ

「そふのこりゃんナ半荘の音
掛ケも十変ふりこび掛ケ拍ふ

「イヤ〳〵十や
十や三拾弐文位のうへ

よふる。さまゝ〜んらるへいてっこるゝ〜ごゝ
「イヤ今日はかゝりでへゝ。又外ふ外ひのうのダあるうちゝと一ッ
ぬいやうとつのりごろう。交してかゞきひく。あすりゝ
さい
「イヤモウ改後さへ母あませんるゝうゝ頂ふ花紙に
ゝうとキとでごゝうキ申ゝう
「へこ病さ申だくもいゝ〜
キ申れお後でごゝアとキとろうけしてお業ゝゝうう
キとナ。サアゝうんふゝろ一ッぬ山ゝり付けキ申う。烟草
どへごのゝろくとも一ッぬい出ふ神ゝよう今ゝ

より矢場七ゝ宗月ゝ殿ハ。揚ゝ弟ゝ と年ごろ年ゝ
ひもつゝれ場ゝ立の意絶大ゝゝゝと。ゝりしゝ
さゝとゝふゝまのゝくふゝりひゝごんまりゝそのゝ和ハ場ゝ立場ゝいゝ。ゝるゝの意絶ゝ
彼ふゝごゝと和ゝ。ゝゝハゝゝゝくゝゝまりしゝゝゝとゝゝと
ゝひ居ゝゝゝへゝゝゝ

（矢場）「あんご又送人くゝ数又旨でゞそゝもうれくゞ」（茶屋）「のゝく
ゝろと変へゝうて業ひてく今せうゝくあへしやゞいゝゝ
所分又差若ふゝろうさまそゝ。まるのめう（茶屋）「いゝゝゝれど」（茶屋）「ハゝゝ
そまゝごゝろうあんまりうゝてゝんのもつゝゝでゞゝりまうに
れくゝゝ」（茶屋）「ヨもくあくあ愚ごゝとゝろうゝかゝれごのザア
かゝれさん。持合ごゝろ一ツ」（茶屋）「是へちと。ゝろ」ゝろくゝるん
ものゞ先いゞできませうゝ子。へイ是へ矢場うんたゞゝ子秋
（矢場）「コレサ。あくゝまも仲合れくゝ多ゞいゝゝゞ先ませうこのへことゞ

あゝろのものゝいゝゝゞきゝ女茶屋へゝうんゝ女茶屋へと吸茶屋ゝゝゞゞ
（茶屋）「ヨもくゝそまゝでもあるゝゝゞけゝんゞ矢まゝ秋の国のゝまゝあり
ゝゝゝゝうんものヲ」（茶屋）「ヲイト。あまゝゞゝうゝうゝゝうんふ信濃の
（茶屋）「若先ゝ」（矢場）「コレサくゝあんまり古イゝゝまへかゝそれ入ゝの是
子母神ゞゞ」（矢場）「そへのひゝゝさんゝゝる。ゝゝよゞゝゝ多くゝ送人くゝゝゝ」
文句のゝそゝと茶屋の跡ゞゝゝ」（茶屋）「ハアそへか。ゝゝア又
ゝゝゝ子ゞあんゝゝりゝとゝゝゝゝゝゝ。ゝゝゝゝ盆山の考屋とゝゝゝて
居ゝ」（茶屋）「イヨくゞゝゝゝゝゝゝもゝくゝゝゝゝゝゝゝゝゝトゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ぐりぐりぶしたいとたそ　「ヤアリ。」　あらナ　白ひげまろまろ　百姓の長ぶ
ぐつとまとまとまと
でも　まていうと　男つこ　ぐつぐつ　ぐやぐやもそ　炭小路の男ころ
「ヨやく　張ぶん　ぶんぶんぶん　ぶんぶんぶん　「附ふ是ハ又ぐう云
きつうけで　本舞台　ぐんぐんぐんぐんぐんぐんぐんぐんぐんぐんぐんぐん
替ッて　うた　「いく　先ケ付ケ　十ぢいと　ぐうぐうぐうぐうぐうぐう　「ヘイ
ぐうぐうぐうぐうぐうぐう　「ヨットぐうぐう　是ハ一ツ　押く
よくといハとぐぐぐ

遊戯集會
半醉之姿
吉吐新聞
流行之詞

ちゃアて仕ェんつ〜。ヘンあくれ〜トンチキざア（捨）そんよ
ゑんごろうざェよア（矢場）ん〜ト（京伝ろ三人ぐろくさと五で。外のものハ
ワァ川。とろびあざと）（矢場）ゑんごく
ゑく〜断明がヨヤく大ゑく。ソレ者の中へも。エてさと
ゑく（矢場）ゑんゑどゑてそゑんれ〜ゑ出ざろう。ヤアく〜ソレ
矢場ゑの独にゑもぶろさざろていろへ早くゑんごとく
出て遊へろうおとさ〜。てアどゑ〜このごゑぐむせく
男ごト！（栃ぐろへ五飛ゑれ出場ゑが決とゑ）是〜く決の中ゑどんとゑぐふぶろる（盗賊）

ゼ（矢場）ドろくゑんゑナア。そ〜て大根のゑぷれゑんごすも
あろゲ。コレ出場ゑゑ〜ゑ眼いつさざゼ。さ」とゑろうと
ゑさう〜。コンくゑゑ〜てさ〜ゑぐゼ（矢場オハせろうくゑさ。
ゑんゑろう。ぶろゑとゑ色ろバ。ゑゑゑのゑとゑのゑぶ（いゑもゑゑゑゑゑゑゑ）
ゑの髪の皮色ゑとゑゑ。（矢場ゑゑゑゑゑゑ）（矢場）ヨヤゑん
ごろ行の皮色ゑ。ゑっそろゑが。ゑんごゑろんトゑぶとゑ（ゑゑゑ）
ゑのゑんと（矢場）ホタく（矢場）ヤアくゑんごく（ゑゑゑ）の屋でハれくゑ。ゑく
ゑそゑれく大ゑ〜〜ハ〜〜ハ〜〜（出番）コレ土場ゑ今月ハてアど
ゑく行ッゑこのごどゑでも（矢場）ふちぶくれくトゑぶ。イヤモウ

まのきろれく行どまりざゾ「おきよてとトンチキざ。
アくろろ〜化さよ」ろろ人ゑ人物ざのハトにくよとくよ。ゑ場ゑ
鉢ハゑ場ゑまゑ弁ハゑりハ。像のゑちゑゑてゑ全鉢山の解ゑざ。ゑ場「ハ
ゑ解ゑ
ゑ場ゑハゑゑげちゑして蓋のざめろてくれくトハゑ場ゑとゑ
ゑ場ゑ
ゑ場ゑ
ゑ場

といふ歌でやうり〳〵ザア[illegible]

「ヲツト[illegible]く。又絵どうらくさせてれべエト[illegible]

「[illegible]五場所の[illegible]

[illegible]ふ[illegible]

[illegible]

「[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

モウ〳〵ごぶいでくだされはしヨアゲヲオく[illegible]

「そエでもあんまりうめくモウ〳〵ろくこ一ツ[illegible]

ベエト[illegible]

「[illegible]

[illegible]

ワツとのかてさ〳〵アく。ア。カイヘンガく[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

江戸

瀧亭鯉丈戲作

溪齋英泉酢画

文政六癸未年正月吉日發行

双鶴堂 人形町通乗物町 鶴屋金助

青林堂 橋町二丁目 越前屋長次郎

永壽堂 馬喰町二丁目 西村屋與八郎

耕書堂 小傳馬町三丁目 蔦屋重三郎

文永堂 京橋弥兵衛門町 大鳴屋傳右衛門

文溪堂 大傳馬町三丁目 丁子屋平兵衛